

令和3年7月6日

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

J S C拠点における新型コロナウイルス感染者の発生について

日本スポーツ振興センター（J S C/東京都港区北青山）が管理・運営する、ハイパフォーマンススポーツセンター（H P S C/東京都北区西が丘）の施設利用者（1名・スタッフ／※ハンドボール）が、新型コロナウイルスに感染していることが、7月5日に判明しました。

※競技名は、競技団体の了解を得て記しています。

当該施設利用者は、6月29日にH P S Cの利用のため施設外検査（P C R検査。以降、検査はすべて同じ。）を受け陰性であったため、当日から施設内ナショナルトレーニングセンター屋内トレーニングセンター・ウエストの専用練習場の利用を開始、7月1日～3日の間、毎日実施の定期検査においても陰性でしたが、4日午後の検査の結果、7月5日に陽性が確認されました。

これに伴い、当該施設利用者の行動履歴を確認し、当該施設利用者が利用した専用練習場及び共用スペースの清掃・消毒作業を行いました。

現在、当該競技の専用練習場は利用を中止していますが、安全が確認でき次第、再開する予定です。

今後、保健所からの指示があった場合には、連携して適切に対応してまいります。

H P S Cでは、日常的に新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した清掃・消毒作業や感染防止策を行っていることから、他のH P S C各施設の利用は継続しています。

なお、現時点でH P S Cの他の施設利用者、関係者から体調不良の報告はありません。

H P S Cでは現在、外部来訪者、職員の施設の入館に際しては、入館時にマスクの着用、手指のアルコール消毒、サーモグラフィによる検温を行い、チェックシートによる前2週間の体調管理等を行っており、継続的な施設利用者に対しては定期検査も行っています。

また、日常的に新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した清掃・消毒作業や感染防止策を行っています。

今後も感染拡大防止と、施設利用者、関係者、職員の安全確保を最優先に運営を行ってまいります。

以上